（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・「ハシバテクノス行動憲章」を定め、従業員の多様性、人格、個性を尊重することを明示している。また、「コンプライアンス・プログラム マニュアル」を全社員に配付し、定期的なコンプライアンス教育を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。・「コンプライアンス・プログラム マニュアル」を全社員に配付し、定期的な教育を実施している。・相談・連絡制度（ヘルプライン）を設置し、専門の相談・連絡窓口を設けている。・職場いきいきアドバンスカンパニー認定証を取得済					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	残業の事前申請化やノー残業デイ、日々業務改善を行い、労働時間の管理を通して業務フローの見直しを行っている。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	「ハシバテクノス行動憲章」を定め、従業員の多様性、人格、個性を尊重することを明示している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生協議会による、定期的な職場パトロール、安全衛生委員会による社内報・ポスター掲示による安全意識の啓発を継続的に実施している。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・年1回、50人未満の事業所を含めた全事業所を対象としてストレスチェックを実施している。・長時間労働者に対しては、産業保健スタッフ等による健康相談を実施している。また、健康保険組合と連携し、Webによる健康相談窓口を開設している。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	「ハシバテクノス行動憲章」を定め、従業員の多様性、人格、個性を尊重することを明示している。また、「コンプライアンス・プログラム マニュアル」を全社員に配付し、定期的なコンプライアンス教育を実施している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・階層別研修（新入社員教育、新任管理職研修など）の実施				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・「ハシバテクノス行動憲章」を定め、社員の仕事の成果を公正に評価する旨を明示している。【予定】パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金ガイドラインの趣旨に沿った社内体制の整備・対応を行う。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・「ハシバテクノス健康宣言」を制定し、社員およびその家族の健康保持、増進に努めるとともに、社員一人ひとりが、「生きがい」や「働きがい」を感じながら、その能力を十分に発揮できるように取り組んでいる。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物は分別し、種類・量など現状を把握し、廃棄物業者へ委託し適切に廃棄している。											11.6	12		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	ガソリン、灯油、水道、電気、紙の使用枚数を毎月集計し推移を把握している							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	ISO14001の環境マネジメントプログラムにおいて省エネ・省資源のための目標として使用エネルギーを定めて取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	提供する建築物に関して、法令で規制されている有害物質をチェックリストなどで把握し、削減に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した材、製品の提供や生物多様性保全に関するチェックリストを作成して配慮している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	リサイクルのチェックリストを作成し分別回収を徹底して廃棄物の削減を図り、リサイクルを推進している。												13		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社の水使用量を把握し、適切に管理している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	親会社のCSR報告書にてグループ会社の環境活動として開示している。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	「ハシバテクノス行動憲章」を定め、汚職・贈賄等の禁止を明示している。また、「コンプライアンス・プログラムマニュアル」を全社員に配布し、定期的なコンプライアンス教育を実施している。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	「ハシバテクノス行動憲章」を定め、公正、透明で自由な競争を明示している。また、「コンプライアンス・プログラム マニュアル」を全社員に配布し、定期的なコンプライアンス教育を実施している。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・「ハシバテクノス行動憲章」を定め、知的財産権の保護・活用を明示している。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・「ハシバテクノス行動憲章」や「個人情報の保護及び利用に関する規程」等を定め、個人情報の保護と顧客情報の管理を明示している。また、「コンプライアンス・プログラム マニュアル」を全社員に配布し、定期的なコンプライアンス教育を実施している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	安全パトロールの実施　各工事完了時と最終完了検査を実施し安全性の確認を行っている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO90001品質マネジメントシステムを導入し、それに基づいた品質向上や高いパフォーマンスの実現を目指している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	新築住宅物件では環境に配慮したゼロエネルギーハウスの推進をしている。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	住民説明会、住宅説明会などで周辺住民への説明を行い、影響がある場合は迅速に対応している。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域の清掃美化活動(月1回)の実施、「穴田川をきれいにする会」への参加。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域採用を積極的に行っている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念、経営ビジョンを明示し、全社員が閲覧できるようにしているとともに(社内イントラネット上の掲載、各職場での掲示など)、経営者により、適宜会議等を通じて理念を共有している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	･「ハシバテクノス行動憲章」を制定し、常に高い倫理観に立ち活動することを経営の根幹としている。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	環境マネジメントシステム(ISO14001)の導入により専門部署としてISO管理室を設けて環境に及ぼすような事等対応できるような体制を整えている。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	「技術と誠意をもって地域社会の発展に貢献する」ことを経営理念とする企業として顧客が満足できるものづくりとサービスを提供できるよう顧客満足度の向上に取り組んでいる。建築物件の引き渡し後、「お客様アンケート」の実施により、顧客に及ぼす建築物件の影響を把握して適切に対応しています。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	建築物件の引き渡し後施工反省会を開催(施工準備、工程、施主への対応、安全管理、予算管理、建築資材、品質管理、業務改善の8つの観点からリスクを検討しプロセスの整備をしている																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	コンプライアンスプログラムマニュアルの作成をして全社員に配付。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	災害に係る業務継続計画(BCP)を策定し、その実効性について避難訓練等を行っている。また、訓練結果に基づいた業務継続計画の見直しを行っている。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）